

北海道議會時報

第 13 卷 第 6 号

昭 和 36 年 6 月



北海道議會事務局

北海道議會時報第13卷第6号(昭和36年)

第 6 号 目 次

議 会 の 動 き

常 任 委 員 会..... 1

特 別 委 員 会..... 9

会 合

全国都道府県議会議長会.....10

十都道府県議会議長会.....10

北海道・東北 6 県議会議長会.....10

全国都道府県議会事務局長会.....11

北海道・東北 6 県議会事務連絡協議会.....11

5 月 の メ モ

表 紙 写 真

— 姫 沼 —

北海道議会事務局撮影

議会の動き

常任委員会

総務委員会

○5月8日 午前11時4分、第1委員室において開議、午後2時30分散会、委員長 沖野政雄(自民)
開議に先立ち新任の高元総務部次長、万谷災害消防課長、上村人事課長、関口道民課長よりそれぞれ挨拶があった。

一般議事

① 公安条例に関し、

井野委員(社)より、警察法第39条の立法精神をどのように理解しているか、昭和29年の警察法改正により警察制度が道警一本となつている今日この札幌市公安条例が存置されていることは矛盾をきたさないか、道公安委員会は今後これを必要とするかどうかを検討する考えがあるか、札幌市の公安条例を経過規定により道公安委員会がその事務を取扱うことは変則ではないか

について質疑、道公安委員長より答弁。

② 警察署管轄区域の問題に関し、交通通信網の発達により現行の管轄区域設定の時と事情が変つてきているが今後合理的区域の設定をどのように検討もしているか、また区域変更の場合合理化そのものと住民の意思のどちらを主として考えるか。当別町厚田村を江別署の管轄に又多度志村を沼田署の管轄にそれぞれ変更の考えがないか

等について質疑、道公安委員長より答弁。

○5月9日 午後3時10分、第1委員室において開議、午後3時12分散会、委員長 沖野政雄(自民)

一般議事

本日の議事は都合によりこの程度にとどめることについて諮り、異議なくそのことに決定、明10日午前10時より開議することとした。

○5月10日 午前10時57分、第1委員室において開議、午後零時55分散会、委員長 沖野政雄(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第456号 函館市に国立工業短期大学設置要望の件
(採 択)
第463号 道民税の大巾軽減及び職員給与改善の件
(保 留)

陳 情

第681号 太平洋岸の流氷による被害漁民に対し道税の減免措置等要望の件 (採 択)
第694号 釧路管内沿岸の流氷被害に対し救済対策要望の件 (採 択)
第601号 札幌市内における交通信号機設置要望の件 (採 択)
第637号 炭鉱所在地市町村財政救済対策の件 (採 択)
第596号 本道の白タク取締り及び抜本的対策樹立の件 (採 択)
第679号 白タク取締りの立法措置要望の件 (保 留)

一般議事

① 佐野委員(社)より、常任委員の改選に関連して残り諸案件の取扱いに対する委員長の考え方はどうか、深川町外3カ村の合併問題に対する質疑に際し副知事(中島)の出席を次回委員会において取計らわれない、

井野委員(社)より、札幌市における公衆浴場設置許可の問題に関連して浴場設置について保健所において不許可の場合その解明書を申請者に下付し申請者は釈明の場が与えられることになっているのにその取扱いとしていないことに対する見解はどうか、

橋本(清)委員(社)より、陳情第497号の北方領土の確保実現方の問題に関連して次回委員会まで調査されたい

こと等について質疑及び意見があり、委員長より応答、総務部次長より答弁。

○5月11日 午後1時23分、第1委員室において開議、午後4時24分散会、委員長 沖野政雄(自民)

一般議事

① 総務部長、税務課長より、東京事務所改築問題及び地方税法の一部改正に伴う道税条例の一部改正について説明を聴取の後、

井野委員(社)より、従来の遊興飲食税を料理飲食等消費税と名称変更した理由、女給の生活実態把握状況とチップに対する課税についてどのように考えているか、

佐野委員(社)より、地方税法の改正による市町村民税の影響はどうか、本年度市町村は固定資産の評価換えをしているがその実態をどう把握しているか、道の指示している平均価格は高いのではないかとまた評価換えによる基準財政収入増と地方交付税との関係、固定

資産評価委員に一般職員が兼務している所が多いが税賦課の尊厳を保つ意味から独立した評価委員会を設置するよう指導する考えがないか、固定資産評価委員会の費用は財政需要額に算定されているか、固定資産税の引き下げに対する見通し、中央において検討されている特殊地帯の固定資産税の減免とこれが補てん対策についてその内容、道内各地で工場誘致に関連して固定資産税の減免措置を行なっているがこれに対する見解、固定資産税率の引き下げを見合いに評価額を引き上げるとような考え方はないか、後進地域工業地帯造成問題の内容

等について質疑、総務部長、地方課長補佐より答弁、井野委員(社)より、支庁の権限移譲問題に関連して軌道客土事業実施要綱及び業者指名の選考委員会委員選任の基準並びに現在委員の氏名等に対する資料提出方要望があつた。

- ② 総務部長より、町村合併に対する基本的考え方について説明を聴取の後、

佐野委員(社)より、大臣勸告を受けた深川町・已村の合併問題に関し、法の拘束が今後更に5カ年間延長されると聞いているがこれは法律でやるのかあるいは政令でやるのか、また関係町村はこの勸告を知っているのか、新聞の世論調査によっても住民の意思が大部分合併賛成であるが村の重要責任の立場にある者が住民の意思と相違する方向の意思表示を行なっていることは極めて遺憾である、このことに対し今後どのように対処していく考えか、

天谷委員(協)より、この勸告というのは知事、大臣ともに含めての勸告であるか、この4カ町村の合併は望ましいことと思うかその推移によつては段階合併ということもいたし方がないのではないか

についてそれぞれ質疑があり、総務部長より答弁、佐野委員(社)はより、本件に関連する陳情第682号一已村の一部を深川町に編入の件については結論のであるまで保留の取扱いとされたい旨の意見があり、異議なくそのことに決定。

- ③ 佐野委員(社)より、北竜、雨竜、新冠各村の町制施行関係陳情の取扱いに関連して人口その他の面で現行条例を改めて検討する必要はないか、

原田委員(自民)より、この3件については6月議会で決める場合は現行条例によらざるを得ないのではないか

について質疑があり、総務部長より答弁があつて、本件については各党と相談の上その取扱いを決めることとし、条例自体の検討は本委員会で行なうことに決定。

- ④ 総務部長より、道議会議員独立選挙区設定問題に関する基本的考え方について説明を聴取の後、

佐野委員(社)より、関係の千歳市外3市は当然独立をさせるべきであり本委員会において結論を出すべきである、

天谷委員(協)より、この4市については単独選挙区とすべきであると思うが本件に関しては各党の意見調整もありもう少し時間をかけてはどうか

について意見があり、異議なく次回委員会までに一応本委員会としての意見を出すことに決定。

- ⑤ 委員長より、陳情第650号札幌地域を地方都市開発計画の対象地区として指定の件及び陳情第680号旭川市を地方開発基幹都市区域に指定要望の件の両案件については総合開発特別委員会との兼ね合い及び中央の取扱い状況もはつきりとしていないので今回は保留の取扱いとすることについて諮り、異議なくそのことに決定。

- 5月22日 午後零時5分、談話室において開議、午後零時36分散会、委員長 沖野政雄(自民)

一般議事

- ① 井野委員(社)より、公衆浴場設置許可の問題に関連して不許可の場合許可申請者に対し釈明の場が与えられることになっているのに与えられていない事例があるがこのような委任事務に対する指導監督等はどうになっているのか、またこの場合条例によつて手数料を支払うことになっているが領収書の発行がないこの書類の処置経過

について質疑、総務部長より答弁。

- ② 委員長より、道議会議員単独選挙区制定に関する陳情第325号、第439号、第449号、第624号及び第665号の審査については先の委員会において代表者会議において検討してはという意見もあつたが、本件は直接各道議に關係を及ぼす重要問題であるので各党総務委員においてその取扱いを協議検討されこの意見をとりまとめたものを明日の委員会に報告されたい旨を述べ異議なくこれを了承。

- 5月23日 午前11時32分、第1委員室において開議、午前11時47分散会、委員長 沖野政雄(自民)

開議に先立ち亀谷地方課長より新任の挨拶があつた。

一般議事

- ① 原田(自民)、井口(社)、天谷(協)各委員より、道議単独選挙区制定問題に関する各党の意見調整の結果について報告があつた後、

井野委員(社)より、本件に関する各党の意見調整がつけば第2回定例道議会議に提出する意思があるか、あるいは本年内に提案するかその見通し、

井口委員(社)より、本件を委員会で最終決定の際提

案時期を要望するわけにはいかないか、

天谷委員(協)より、本件を決定する時提案時期についても付帯事項として提出することを考えられたい

ことについて質疑及び要望があり、総務部次長より答弁。委員長より、総務委員会の本件に対する意見としては配付資料(4)の103名案と了解することについて諮り、異議なくそのことに決定、なお最終決定は各党の意見調整の結果について報告を得た後としたいので次回委員会までに各党の本件に対する意見を報告できるよう取り進められたい旨を述べ、佐野委員(社)より、委員長においてはこのことを議長に報告して会長会議、幹事長会議等で検討するよう申し入れてほしい旨要望があり、委員長より応答。

厚生委員会

○5月30日 午前10時32分、第1委員室において開議、午後2時29分散会、委員長事故のため副委員長松尾三良(白民)

開議に先だち新任課長の紹介があつた。

請願、陳情の審査

陳 情

第659号 道身体障害者福祉協会に対する補助金の早期交付並びに道社会福祉館早期着工の件 (採 択)

第660号 道社会福祉協議会に対する補助金早期交付及び道福祉館早期完成の件 (採 択)

第511号 市街地における非衛生的養畜施設の整備改善の件 (採 択)

一 般 議 事

① 副委員長より、昭和36年度厚生関係国費予算配分折衝及び職業安定、社会保険、国民年金行政事務の地方移譲と職員の身分切りかえに関する中央折衝の経過について報告書によつて報告の後、異議なく報告を了承。

② 太田(社)、渡辺(社)、中野(社)各委員より、当初議会終了後、今日まで委員会が招集されなかつたことについて、質疑及び意見があり、副委員長より応答。

③ 中野委員(社)より、栗山養老院建設問題に関し厚生省が木造モルタルをブロック建築に変更したことに対する道の見解並びに措置

について質疑があり、民生部長より答弁。

④ ポリオの発生状況並びに元遠軽保健所長の医師資格詐称事件の経過について衛生部長より説明を聴取の後、

中野委員(社)より、保健所に採用したのは何年か、そのころの医師の不足状況はどうなっていたか、医師の定期審査をやつていなかったのか、生ワクチンの接

種に必要な経費として6億円予備費から支出するようだがどうか、ソ連製と英国製の生ワクチンを輸入するのか、

太田委員(社)より 採用の時、卒業証書及び医師の免許書を持つていなかったのか、てん末書はいつ誰に書いたものか

等について質疑、意見及び要望があり、衛生部長より答弁。

⑤ 渡辺委員(社)より、小樽市における公衆浴場設置に関する新聞報道に関連して、この際条例を改正する意思はないか、また人口密度など総合的判断の上に立つて検討されたい

ことについて質疑があり、衛生部長より答弁。

商工労働委員会

○5月2日 午前11時27分、第1委員室において開議、午後1時27分散会、委員長 大久保和男(白民)

一 般 議 事

① 小樽土木現業所失業対策事業所における技能労働者の身分等保障の問題に関し、

千葉(大)委員(社)より、技能者労働組合の事務補助職員等が3分の1も身分切替えがなされており、これは不正就労があつたためというがどうしてか、不正就労について検察側の結論はでているのか、実行予算の配分計画を立てる前に身分切替えを行なつた所長の措置に部長は了解を与えたのか、土木部と土現所長との連絡がうまくとられていないのではないかと、前年度の就労者のうち直行者として残るものの数はいつ明らかになるか、

五藤委員(社)より、組合と話し合いを行なわずに直行者を職安の窓口に戻したというが1人1人に通告して実施したのか、今後は組合を通して話し合いを行なう方針かどうか、労働協約と結ぶ時土木部は当事者とならないか、技能者労働組合の存在価値をもつて認めるべきではないか、

村本委員(社)より、身分切替えの措置について技能者労働組合に対しどのような説明をしたか、前の直行者を全部今年も使う考えかどうか、仕事の内容も同じか、直行者についてはいつごろ決めるのか、熟練土工の技能をどの事業にどれだけ必要とするか、今までグラウンド整備をしていた土工で、河川改修にも適する土工は何か

等について質疑、意見及び要望があり、土木部長、労働部長、職業安定課長より答弁。

② 委員長より、五藤委員からの流氷被害に関する資料及び千葉(大)委員からの青函擬制料程に関する資料要

求について諮り、異議なくそのことに決定。

- ③ 委員長より、次回委員会開催について諮り、5月中旬頃を目途として日時は委員長一任とすることとした。

○5月18日 午後2時2分、第3委員室において開議、午後4時13分散会、委員長 大久保和男(自民)

請願、陳情の審査

陳 情

第654号 小樽市土木現業所失業対策事業所における技能労働者の身分等保証の件

(採 択)

一 般 議 事

- ① 委員長より、国鉄貨物駅集約輸送に関する現況について休憩して貨物課長の説明を聴取する旨を述べ、午後2時3分一旦休憩(休憩中国鉄北海道支社貨物課長より、北海道における貨物輸送体系、国鉄貨物輸送の実態、今後の貨物輸送、貨物取扱駅集約等について説明を聴取、質疑、応答を行なった。)午後3時26分再開。

- ② 古沢委員(自民)より、石炭対策、国鉄貨物運賃公共割引の恒久制度化、青函擬制キロ制度撤廃、職業安定、社会保険及び国民年金行政事務の地方移譲と職員の身分切替等に関する中央折衝の経過について報告があり、異議なくこれを了承。

- ③ 五藤委員(社)より、地代家賃統制令廃止の動きに伴い苫小牧王子の土地を2.6倍に値上げするようだがこの実情について調査資料の提出方

等について質疑、意見及び要望があり、商工部長より答弁。

農 務 委 員 会

○5月22日 午後1時46分、第3委員室において開議、午後3時12分散会、委員長 二瓶栄吾(協)

開議に先だち農務部長より新任の部次長、課長及び課長補佐の紹介があつた。

請願、陳情の審査

陳 情

第693号 釧路管内沿岸の流氷被害に対し救済対策要望の件

(採 択)

一 般 議 事

- ① 石畑委員(自民)より、てん菜生産振興及びてん菜最低生産者価格引き上げに関する中央折衝の経過について報告の後、

渡部委員(社)より、このことについて道のとつた措置はどうか、農林省の態度について折衝委員の報告と農務部長の説明とがくい違っているが実情はどうなの

か、折衝委員及び道ではどのような考えで折衝したか、報告書の参考資料にある価格はどこでだしたものか、農業団体、道及び議会の連携はどうか、農業団体の要求価格6,000円に対し委員長はどう考えているか、また6,000円はどのようにして計算されたものか、昭和29年度に行つた農林省の算出基礎と同じ方式によれば36年度はいくらになるか、今後折衝する場合、価格引上げにともない糖価が値上がりする恐れはないか、

菅田委員(社)より、委員長は5,600円、27年を基準とするバリエイ価格及び5,740円(29年を基準とするバリエイ価格)の資料を持つて行つて折衝したか、農林省では農業団体と製糖会社で価格を決めたらよいといつてはどうか、また話し合いを行なつてはどうか、5,520円の計算方式はどうなつてはどうか、

笠井委員(社)より、部長と畑作園芸課長の答弁が一致していないが実情はどうなのか、5,520円の価格はどこからでたのか

等について質疑、意見及び要望があり、委員長より応答、農務部長、畑作園芸課長より答弁。この問題に関する質疑を保留とすること及び渡部委員の資料要求について諮り、異議なくそのことに決定。

- ② 笠井連合小委員長(社)より、農開協組織整備対策小委員会の中間報告があり、異議なくこれを了承。

- ③ 菅田委員(社)より、農家負債整理対策連合小委員会の審議経過について報告があり、異議なくこれを了承。

○5月19日 午後1時43分、第3委員室において農開協組織整備対策連合小委員会を開議、午後2時36分散会、連合小委員長 笠井幸衛(社)

- ① 大石小委員長(社)より、農開協組織整備対策について報告があつた後、

山田委員(社)より、開拓民の零細化についてあまり取り上げられていないようだがどうか、

尾崎委員(自民)より、どういう開協は統合すべきだということに具体的に表現すべきではないか、

久米委員(自民)より、連合小委員会解散後のこれらの問題に対する農務、農開両部長の所信を聞きたいので次回委員会に出席させてもらいたい

こと等について質疑、意見及び要望があり、大石小委員長及び笠井連合小委員長より応答、議事進行について休憩して協議した結果、各委員から出された意見を農務、農開それぞれの委員会に報告し両委員会の意見を聞いて23日連合小委員会を開き最終的な結論を出すこととした。また、次回委員会で両部長より、この問題に対する意見を聞くこととした。

○5月23日 午前11時10分、第3委員室において農開協組織整備対策連合小委員会を開議、午後零時6

分散会、連合小委員長 笠井幸衛(社)

- ① 大石小委員長(社)より、農開協組織整備対策に関する決議案の一部修正について報告があつた後、

山田委員(社)より、この修正案に国及び道の指導体制がともに開協、農協に二分化された官僚的機構であつたとあるが農協が官僚的機構であつたと解釈されないか、この対策を実現するためには国に法改正を要請しなければならないが、そのためには法的な検討を加えなければいけないのではないかと、

尾崎委員(自民)より、国道及び市町村の指導体制のあり方については本対策等に何も無いのではないかと、

等について質疑及び意見があり、笠井連合小委員長、大石小委員長より応答、暫時休憩後、農地開拓部長及び農務部長より農開協整備対策問題に関する見解を聴取の後、

大石小委員長(社)より、道は5月8日今後の開拓事業の基本方向について国に要請しているが、その基礎になる開協のあり方をどう考えているか、また開協は生産協同体としての裏付けをもっているのかどうか

について質疑及び意見があり、農地開拓部長より答弁。

- ② 連合小委員長より、本対策の決議案の取扱いについては休憩して協議することとして一旦休憩(休憩中、協議の結果、次回の両委員会に小委員会で決定した開協整備対策及び今後の取扱いについて報告し、その後は農務、農開両委員長に一任することとした。)午後零時5分再開の後、異議なく休憩中協議のとおり決定。

建設委員会

- 5月15日 午後1時45分、第3委員室において開議、午後4時54分散会、委員長 伊藤 弘(自民)

開議に先だち管理課長、建築課長、住宅課長よりそれぞれ就任の挨拶があつた。

一般議事

- ① 奈良委員(自民)より、一級国道の追加指定等に関する中央折衝の経過について報告があつた後、

竹内委員(社)より、一級国道追加指定要望に対する各省の意見はどうか、厚生年金住宅建設戸数について要望どおり700戸を獲得できた場合、当初予算400戸分との関係はどうか、一戸当りの単価が昨年より高くなっているが基準坪数、構造等はどうか、中央折衝における国道昇格への要望事項について本委員会で何も審査していないがどういうわけか、

坂下委員(社)より、委員会開催のおくれた理由は何

等について質疑、意見及び要望があり、委員長、奥

野(自民)より応答、土木部長より答弁。

- ② 竹内委員(社)より、土木、建築両部の事業進捗状況について昨年と対比してどうか、各土木現業所の第1期分の発注状況はどうなっているか、建築部の工事請負契約について建築単価の関係から落札者がいないようだがどうなっているか、

斎藤(正)委員(社)より、予算に不足をきたすような随意契約は違法ではないか、土木、建築両部の機構改革について本委員会に諮られなかつたことをどう考えているか、監察員制度設置の理由はどこにあるのか、その業務内容はどうか、管理課及び調査員との関係はどうか、農業関係の住宅を建築部所管としているのはなぜか、

荒委員(社)より、監察員は何名任命したか、事務職員10人、技術職員が1人で全道の各土木現業所の監察を行なうことができるか、この制度の運営方針はどうか、会計について出納局と関係はどうか

等について質疑、意見及び要望があり土木部長より答弁。

- ③ 委員長より、次回委員会は明16日に開くこととした。

- 5月16日 午後3時23分、第3委員室において開議、午後4時42分散会、委員長 伊藤 弘(自民)

請願、陳情の審査

陳情

第685号 太平洋の流氷による被害漁民に対し海浜地地使用料減免措置要望の件 (採 択)

第691号 釧路管内沿岸の流氷被害に対し救済対策要望の件 (採 択)

一般議事

斎藤(正)委員(社)より、監察員制度設置の理由と具体的内容はどうか、管理課分掌事項との関係をどのように調整するのか、

坂下委員(社)より、監察員制度の具体的な運用を明らかにしてもらいたい

こと等について質疑、意見及び要望があり、土木部長より答弁。

農地開拓委員会

- 5月9日 午前11時2分、第2委員室において開議、午後2時35分散会、委員長 堀田 毅(自民)

開議に先だち田中新農地開拓部長より就任の挨拶があり、ついで新任の課長及び課長補佐の紹介があつた。

請願、陳情の審査

請願

第419号 多度志村ヌツブホロマツ地区開拓北団

地養豚、養鶏集団化事業に対し助成の件
(保 留)

一 般 議 事

- ① 黒松副委員長(協)より、自創資金貸付枠及び条件緩和に関する中央折衝の経過について報告書によって報告があり、ついで、

大石委員(社)より、緊急を要したため委員会を開かずに中央折衝を行なったというのが緊急とは何か、本道の配分枠に関する見通しはどうか、自民党の道開発特別委の法改正案に貸付限度額のことをもられていないがどうしてか、金利についての見通しはあるか、また自民党委員はこれをどう考えているか、知事は記者会見で条件緩和は議員立法で行なうといっているが農地開拓部長及び農務部長はこれを知っているか、この問題は負債整理小委の方にはかるべきでなかったか、最近の状況を農地開拓部ではどう把握しているか、条件緩和及び負債全般については農務部で、農地開拓部は枠の獲得だけやるというのが委員長はこれを了承するのか、

橋本(正)委員(社)より、自創法改正案は36年度限りとあるがどうしてか、中央折衝は自民党を通して行なっているのか、

清水委員(社)より、中央折衝について上京中の負債整理小委員長に何か連絡があつたか、自民案に対し今後どのように対処するか

等について質疑、意見及び要望があり、委員長及び負債整理委員長より応答、農地開拓部長より答弁。

- ② 尾崎委員(自民)より、農開協組織整備対策小委員会はその後どうなっているかについて質疑及び要望があり、大石委員(社)より応答。

- ③ 大石委員(社)より、不用地返還問題の進捗状況、国との折衝及び現地折衝並びにこれに対する部長の考えはどうか、新規入植計画はどのような考えで立てたか、入植者の生活安定についてどう考えているか、放牧地、増反に関する資料提出方について、

橋本(正)委員(社)より、金山ダムについた1億円の配分についてその後の進捗状況はどうなっているか、農業基本問題に関する農業研究所長の談話について所長より直接話を聞きたいので出席要求されたい

こと等について質疑、意見及び要望があり、委員長より応答、農地開拓部長、農地課長より答弁。

○5月22日 午前11時55分、第3委員室において開議、午後3時43分散会、委員長 堀田 毅(自民)

開議に先立ち新任課長の紹介があつた。

一 般 議 事

- ① 大石小委員長(社)より、農開協組織整備対策問題に関する連合小委員会の審議結果について報告があつた

後、

清水委員(社)より、一市町村一組合の原則をうたっているが農開協の統合は数カ町村がまとまって一つを作つてもよいのか、この問題を今後道の段階でどのように進めていくか

について質疑及び要望があり、大石小委員長より応答。

更に本件に関し山田(社)、橋本(正)(社)、尾崎(自民)各委員よりそれぞれ意見の交換があつた。

- ② 清水委員(社)より、農業研究所長はどのような考えで農業基本法に関する公聴会に自民党推選の公述人として出席したか、また公聴会で道の意見がもられており満足であると述べたことであるが実情はどうか、この農業基本法では貿易自由化問題、格差是正、農家、主婦労働の解放が解任されないのではないか、道の答申案についての知事答弁と公聴会における農研所長の発言とは食い違っているのではないか、

橋本(正)委員(社)より、農業基本問題の答申案について農研所長は各地でどのような立場で説明を行なっているのか、今後農研ではどのような態度をもつて研究を進めていくか、畜産振興についてその消流対策が組まれていないのは何故か、今後予算要求をして消流対策を研究する意思があるか

等について質疑、意見及び要望があり、農業研究所長より答弁。

- ③ 委員長より、橋本(正)委員(社)より金山ダムの問題について次回委員会で企画本部長より説明を聴取したい旨の要望があつたのでそのように取計らうことを諮り、異議なくそのことに決定。

- ④ 委員長より、次回委員会開催について諮り、各党の間で相談して決めることとした。

水 産 委 員 会

○5月10日 午後1時45分、第2委員室において開議、午後4時35分散会、委員長 麻里梯三(自民)

請願、陳情の審査

陳 情

- 第548号 水産技術普及員の道費切替及び設置費補助増額の件 (採 択)
第558号 本道春鯉沖刺網漁業の転換対策及び補償金支給要望の件 (保 留)
第559号 本道中型機船底曳網漁業の北方機船底曳網漁業転換要望の件 (採 択)

一 般 議 事

- ① 先に新聞報道された北方見舞金法案の内容について水産部長より説明を聴取の後、

秋山委員(自民)より、この法案は今国会に間に合う

か、道選出の与党議員の考えはまとまっているか、

川村委員(社)より、この法案は部長が上京していた時のものか、定置漁業権が入っているが部長が具申したのか、また内容が以前より強くなっているが今後支障ないか、北方協会の取扱い窓口は道ではどこが主管するのか、主務大臣が農林大臣であつたのが総理府となつているがこの点どう考えるか、

窪田委員(社)より、見舞金は北方協会が独自で管理するのか、道はタッチするのか、

松平委員(自民)より、13億円を何年かかつてどのよう

に使うのか
等について質疑、意見及び要望があり水産部長より答弁。

② 委員長より、次回委員会は11日午前10時開議することとした。

○5月11日 午前11時10分、第3委員室において開議、午後3時40分散会、委員長 麻里悌三(自民)

請願、陳情の審査

陳 情

第568号 ソ連イカダ漂流による被害に対する補償の件 (採 択)

第569号 漁業に関する税制度改正要望の件 (採 択)

第580号 胆振管内のえび桁網漁業の企業化試験操業実施の件 (保 留)

一 般 議 事

① 北方見舞金法案に関するその後の経過について水産部長より説明を聴取の後、

川村委員(社)より、北方協会は年間64万円の利子を資金源として運用できるかどうか、元北方地域居住者はどれ位か、またそのうち漁業者はどれ位か、本道在住者でないもの及び漁業資金でないものまで水産部で扱うのか、

阿部副委員長(自民)より、昨日決定したという16億円は専用漁業、定置漁業及びその他援護的なものに区分して算定されているようだがこれにとらわれてやらねばならないのか

等について質疑及び意見があり、水産部長より答弁。

○5月12日 午後1時35分、第3委員室において開議、午後4時55分散会、委員長 麻里悌三(自民)

請願、陳情の審査

陳 情

第580号 胆振管内のえび桁網漁業の企業化試験操業実施の件 (採 択)

第617号 漁港整備に対し維持補修費増額の件 (採 択)

第663号 浜益沿岸におけるかれい刺網漁業の安全操業確保の件 (保 留)

第670号 釧路村所在昆布森漁港早期完成の件 (採 択)

第672号 室蘭市第2種追直漁港を第3種漁港に昇格並びに整備拡充の件 (採 択)

第673号 こうなご旋網漁業許可反対要望の件 (採 択)

一 般 議 事

北方地域見舞金法案に関するその後の経過について水産部長より説明を聴取。

文教林務委員会

○5月8日 午後1時10分、第3委員室において開議、午後4時13分散会、委員長 大沢重太郎(自民)
開議に先だち林政課長の総務部次長転出及び新任の林政課長よりそれぞれ挨拶があつた。

請願、陳情の審査

請 願

第411号 民有林振興並びに森林組合振興対策の件 (保 留)

第354号 農家林の達成及び農家委託菌園設置に対し助成等の件 (保 留)

第362号 利尻礼文道立自然公園を国定公園に昇格要望の件 (保 留)

第391号 野付半島風連湖一帯を道立自然公園に指定の件 (保 留)

第393号 松前町地帯を道立自然公園に指定の件 (採 択)

陳 情

第468号 木炭生産業に対する災害共済制度確立要望の件 (採 択)

第632号 三石町及び浦河町を襟裳道立自然公園地区内に編入の件 (保 留)

一 般 議 事

① 委員長より、去る4月24日全国都道府県会館において開催された国有林野の解放に関する打合わせ会議の経過について報告の後、

湯田委員(社)より、農家林の育成強化について27都道府県議会の国有林開放運動と農業基本法との関連はどうか、

堀委員(社)より、本件に関する運動は鹿児島県ではその必要性から動き出したものと思うが北海道には北海道の特殊事情があると思う、詳細については後刻、文書で提出されたい、

林委員(自民)より、本問題は重要なので第2回定例

会前に議長においてしかるべく取り進めてもらいたい
こと等について質疑及び要望があり、委員長より応
答。

② 林務部長より、国土緑化推進大会植樹行事について
説明を聴取の後、

堀委員(社)より、招待者1万人の範囲、一般参観者
の制限、陛下の視察カ所を一部変更した理由、植樹行
事は計画どおり施行されているか、

湯田委員(社)より、昨年の開催地山形では小さな木
を引き抜いて会場を整理し批判がでたが今回そのよう
なことはないか、一般のカメラマンが陛下の目の前で
撮るようなことは注意してもらいたい、

池田(金)委員(協)より、会場の整備状況はどうか、
また一般参加者の収容率はどうか

について質疑及び要望があり、林務部長より答弁。

③ 湯田委員(社)より、自然公園関係で議会が採択した
ものが公園審議会にかけられることになっているがそ
の審議会が一年1回くらいしか開かれていないのはど
ういうわけか、木糖会社に対する融資について道が中
に入っているがその経過はどうか、

山下委員(社)より、4月26日の新聞報道で去る文教
林務委員会で論議された自然公園の管理と機構の問題
について観光課に吸収されなかつたと報道されている
が部長の考え方はどうか、

堀委員(社)より、観光宣伝は観光課でやるというこ
とであるが自然の景観に多くの人を接しめるための施
設は林務部で行なうのか、観光課が設置されてから飛
躍的に公園の事業が伸びているのか、

池田(金)委員(協)より、公園の指定はどこの部でや
るのか

等についてそれぞれ質疑があり、林務部長、林政課
長より答弁があつて、明9日午前10時より引き続き開
会することとした。

○5月9日 午前11時20分、第3委員室において開議、午
後4時15分散会、委員長 大沢重太郎(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第432号 道立余市高等学校校舎改築の件

(採 択)

第435号 昭和36年度文教予算増額等の件

(保 留)

第451号 肢体不自由児養護学校の拡張及び増設の
件

(採 択)

陳 情

第602号 網走支庁管内所在高校間口の拡充及び養
育教育費全額国庫負担化早期実現要望の
件

(採 択)

第603号 岩見沢市に道立青年の家設置促進の件
(採 択)

第605号 道立札幌ろう学校高等部校舎建築の件
(採 択)

第608号 小学校の教員定数増加及び学級編成基準
引き下げの件

(保 留)

第609号 昭和36年度教員旅費増額の件

(採 択)

第622号 小学校における教職員定数増及び学級編
成基準引き下げ等の件

(保 留)

第628号 都市における高校入学難解消対策の確立
及び高校設置増設費全額道費負担の件

(採 択)

第640号 特別史跡五稜郭跡石垣及び濠用水路復旧
工事に対し道費助成の件

(保 留)

第645号 一己村所在3中学校統合新築計画延期要
望の件

(保 留)

一 般 議 事

① 湯田委員(社)より、高校急増対策の青写真を発表さ
れたい、理工関係教員の不足補充対策、教頭管理職手
当支給に対する考え方はどうか、

山下委員(社)より、高校急増対策に関連して科学的
にはじかれた数字は政治的に左右されることなく発表
すべきでないか、また予算措置は政治と切り離して考
えるべきである、

堀委員(社)より、高校急増対策協議会の性格は何か、
産業教育審議会において札幌市に高校新設の結論がで
ているがこれは行き過ぎでないか、また高校急増対策
案はいつ頃明確になるか、

についてそれぞれ質疑及び意見があり、教育長より
答弁。

○5月22日 午前11時33分、第3委員室において開議、午
後3時30分散会、委員長 大沢重太郎(自民)

一 般 議 事

① 財務課長より、高校急増対策に関し配布資料に基づ
き説明を聴取の後、

湯田委員(社)より、配布案は道教委の最終案か、進
学率が前回出された案と違うがどうか、定時制高校に
おいて入学率が少ないところはどのようにするか、

堀委員(社)より、配布案には基本的な方針が打ち出
されていると考えてよいのか、また、要綱に基づいて実
施計画の試案ができるのはいつか、公表の時期、国の
財政措置とも関連して職業課程50、普通課程50と考
えてよいのか、地域の条件等検討を要すると思うがどうか、
市町村立定時制高校の道立移管の方針、

林委員(自民)より、昭和40年度の進学率58.86%に
相当する入学定員収容の臨時対策は見通しがあるか
等について質疑、教育長、財務課長より答弁。

- ② 委員長より、本問題に対する副知事(中島)及び教育委員会委員長に対する質疑に入る旨を述べ、

湯田委員(社)より、北教組との団体交渉の際管理職手当の支給について話し合いがされたと聞いているが支給の考えがあるのか、また総合的な勤評ならいつでもやつているといわれたようであるがその内容はどうか、国は高校急増対策にわづかし予算を組んでいないが道の財政措置についての考え方はどうか、学校の新設及び増改築等に対する寄付行為に関し全額地元負担ということが行なわれてきたが考え方はどうか、また道立高校は全額道費で設立すべきだと思うがこれに対する基本的考え方、管理職手当の予算化問題に関連して知事は義務的経費は年間予算の建前から補正予算で組むのは好ましくないといっているが副知事は義務的経費でもその当時要求のなかったもので新たに出されたものはその都度考えるべきだといっている答弁に食い違いがあると思うがどうか、

堀委員(社)より、高校急増対策は財政上の大きな問題であり知事と教育委員会が共同責任の上で決定するよう最終試案に基づき検討することが適正ではないか、第2期総合開発計画と文教施設との関係はどうか、

山下委員(社)より、高校新設費補助起債の獲得について今後どのような折衝を行なう考えか、高校急増対策に関連する新設には地元負担を全廃すべきでないか、公立、私立の比率は試案にどのようにもられているか、高校の具体的設置案は発表されるか、また財政措置を講ずるか、45年度における進学率72%の収容に対する決意、高校急増対策協議会の性格及び今後の運営方針

等についてそれぞれ質疑、副知事(中島)、教育委員会委員長、教育長より答弁。

- 5月23日 午前10時20分、第3委員室において開議、午前10時22分散会、委員長 大沢重太郎(自民)

一般議事

- ① 委員長より、豊平林業試験場及び道立整肢養護学校建築現場を本日視察することについて諮り、異議なくそのことに決定。
- ② 委員長より、利礼道立自然公園の現地調査を行うことについて諮り、異議なくそのことに決定、派遣委員及び日程等については各派代表者にて協議することとした。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

- 5月15日 午後1時38分、第1委員室において農家負債整理対策連合小委員会を開議、午後5時30分散会、連合小委員長代理 堀田 毅(自民)

- ① 堀田小委員長代理(自民)より、本日委員会を開催した経緯について報告、あわせて先の農地開拓委員会における自創資金枠の獲得に関する中央折衝の際把握した負債整理に関する条件緩和の中央状況について報告の後、

菅田委員(社)より、委員長の報告は公式の報告と解してよいのか、負債整理については小委員会を作つて三部で行なつており報告はすべて三部共同の報告でなければならぬと思うがどうか、農地開拓委員会が自創資金の枠及び条件緩和について独自で中央折衝しているがこれが正しいと考えているか、

清水委員(社)より、農家負債整理の連合小委員会を今日まで3カ月間開かなかつた理由、また農家負債整理当面の最高責任者は誰か、また本委員会開催については三小委員長の出席を得て開かれたい、

渡部委員(社)より、農家負債整理に関する中央状況がいろいろと新聞報道され重要な段階にあるとき本委員会に対し何らその報告がないのは遺憾である、早急に知事、副知事から経過を説明されるよう取扱われたい

ことについて質疑及び意見があり、堀田連合小委員長代理(自民)より応答、次回委員会は17日午前10時より開催することとした。

- 5月17日 午前10時49分、第1委員室において農家負債整理連合小委員会を開議、午後2時47分散会、連合小委員長代理 堀田 毅(自民)

副知事(中島)より、農家負債整理条件緩和の問題に関する中央の状況について説明を聴取の後、

菅田委員(社)より、当初議会において知事は今国会を目途に基本線に進むと答弁しているがこの基本線とはどういうことか、36年度要求の基本線はいくらか、今国会で解決したいといっているが解決の基本線は議員立法かあるいは政府提案か、

渡部委員(社)より、道の基本線に従つて今後も折衝していく考えか、4月21日の自民党道開発特別委員会で金利引下げは要求しないと決つたようであるがどうしてこのようになったのか、道は本年度分について利

子補給する考えがあるか、貸付限度額50万円について道はあきらめたのかどうか、知事は議員立法について社会党の協力を求めるといつているがどのような話し合いが行われたか、当初の道の基本線以下に決定された場合道の基本線どおりのものを別に検討する考えがあるかどうか、

清水委員(社)より、中央の状況変化を本委員会にもまた農業24団体にも報告していないのはどういうわけか、自民党が金利引き下げはやらないと決めたのはいつか、副知事は議員立法でやることになったといつているがそれでも根本解決にならないと思うがこの点どのように考えているか、金利が3分でなければ立直れない農家はいくらあるか、D階層対策の作業進捗状況はどうか、

橋本(正)委員(社)より、この負債整理は誰の責任においてやるのか、金利を下げないで償還年限の延長だけで負債整理ができると考えているか、知事と議会の関係についてどちらが主体制をもつのか、農業基本法と自創法の関連はどうか

について質疑があり、副知事より答弁、今後の委員会運営の問題に関し、道下委員(社)より、負債整理の実施方促進について知事に申し入れを行ない今後もなお努力を続けてもらいたいことについて意見があり、堀田小委員長より、各委員より質疑のあつた事項については3小委員長で協議の上近い機会に知事、副知事に対し申し入れを行なうとともに更に負債については道自体においても適切な措置をとることを申し入れ、その結果を聞いてから更に本委員会を開く旨を述べた。



全国都道府県議会議長会

○5月22日 都道府県会館において常任監事会を開催、議員互助年金法成立後の善後措置並びに互助会設立の取運びについて協議した。

○5月31日 都道府県会館において臨時会を開催、まず会長代理甘利伸奈川県議長を議長に選任したのち、全議坂下局長より国会における議員互助年金法案の審議経過について報告があり、ついで次の事項を協議の結果、さきの常任幹事会の決定を確認するとともに、互助会設立発起人には議長が当たり、議員全員加入の方針で臨むことを申し合わせた。

- 1 地方議会議員互助年金法成立後の善後措置について
- 2 都道府県議会議員互助会設立の取運び方について
- 3 昭和36年度臨時分担金について

十都道府県議会議長会

○5月18・19の両日京都府において開催、まず愛知県議長より前回会議決定事項の処理について報告があり、ついで次の事項を協議、関係方面に要望することとした。

- 1 私立学校助成財源確保のため地方交付税法の一部改正について
- 2 産炭地振興法の制定について
- 3 農業近代化資金融通制度について
- 4 治水事業費の増額について
- 5 防災対策について
- 6 工場排水等の規制とその処置について
- 7 中小企業信用保険料率の引下げと保険填補率の引上げ並びに信用保証協会に対する政府出資について

北海道・東北6県議会議長会

○5月9日 青森県において開催、まず岩手県議長より前回会議決定事項の処理について報告があつたのち議事に入り次の事項を協議ついで防災基本法の早期制定ほか5項目の早急実施を要望することを内容とする決議を行な

い、いずれも関係方面に強く要望することとした。

- 1 所得倍増計画に伴う東北開発計画の改訂と地域格差の解消について
- 2 災害復旧事業の短年度完成並びに災害関連助成事業の採択基準の改訂について
- 3 所得税課税標準から法定選挙費用の控除方について
- 4 高等学校生徒急増に対する国の財政措置について
- 5 東北本線の電化複線化の早期実現及び裏日本縦貫鉄道並びに奥羽本線のスピード化と整備強化について
- 6 国有林の解放について
- 7 北海道、東北開発公庫の融資対象に観光事業の追加について
- 8 雪害対策について
- 9 開拓制度の改正について
- 10 沿岸漁業振興法の成立促進について
- 11 国鉄貨物運賃公共割引の恒久制度化について
- 12 農地開発事業の促進について

全国都道府県議会事務局長会

○5月26・27の両日東京都において開催、次の事項について研究協議した。

- 1 地方議会議員互助年金関係法令案及び互助会規約等の解明について
- 2 都道府県議会議員互助会の設立準備について
- 3 地方議会運営上の諸問題について

北海道・東北6県議会事務連絡協議会

○5月16日 秋田県において開催、次の事項について研究協議した。

- 1 議事堂の管理について
- 2 議事堂の取締りにについて
- 3 議事堂の取締りと傍聴人に対する取締りの実施について
- 4 監査委員の改選について
- 5 常任委員会の所管改正と委員の改選について
- 6 出席催告について
- 7 議決を経た契約の内容変更について
- 8 一事と先議について
- 9 内容の一部に停止条件のある議案について
- 10 予算外事務負担の修正議決について
- 11 関連議案中の名称について
- 12 地方自治法第100条の調査権の範囲について
- 13 委員長報告に対する質疑の範囲について



5 月 の メ モ

- 1 ○札幌市と豊平町の合併成る。
- 2 ○道千歳市の大火に災害救助法を適用。
- 4 ○第5次南極観測船「宗谷」帰る。
- 5 ○米、人間ロケットに成功、15分間480キロ飛び、シェパード中佐は無事。
- 7 ○自治省、最近の地方財政の推移と状況を発表、国庫支出金ふえる、支出面で大きい教育費。
- 8 ○科学技術庁「資源白書」を発表、利用の仕方まちまちで100%生かされない。
○道、企画本部「本道産業構造の将来」を総合開発委総合計量分科会に提出、今後10年間に経済成長率8.7%を維持。
- 9 ○文部省、工業高専の教育課程試案を発表、重点を数学と外国語に、すぐ役立つ技術者養成。
- 10 ○道、財務局道内市町村の35年度決算見込みをまとめる、赤字団体は16、財政力はいぜん弱い。
- 11 ○次官会議、緊急失対地区を指定、本道は夕張、函館。
○道、町村合併を推進の方針、勧告地区5年以内に合併すれば財政上の恩典を継続。
- 13 ○東京5輪の会期案決まる、10月11日から15日間。
○36年度第1回道、市長会行政懇談会開く、高校生急増対策などで論議。
- 15 ○室蘭市議会、登別町との合併を決議。
- 16 ○韓国でクーデター、軍事革命委員会が全権力を握る(議長、張都英参謀総長)。
○千歳市議会のリコール投票で議会の解散決まる。
- 17 ○道教委、高校生急増対策の最終案を発表、増募来年度から職業課の充実に重点。
○道、水産業協同組合指導協議会、漁家経済の成長分析発表、衰退の傾向をたどり専業、わずかに4%増。
- 18 ○張勉韓国内閣総辞職。
○大阪市大登山隊ヒマラヤで遭難、隊長ら3人死亡。
- 19 ○衆院、地方議会議員互助年金法案可決。
○労働省、昨年の賃金構造調査結果を発表、規模別の格差縮小、上昇率、若い労務者が高い。
○衆院、酒によつて公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法案を可決。
- 21 ○日ソ漁業協定調印、漁獲量日本は6万5千トン。
○大相撲夏場所佐田の山優勝。
- 23 ○天皇、皇后両陛下植樹祭に御来道。
○道、水産部、漁業協同組合の現況をまとめる、4割が赤字。
- 24 ○厚生省、小児マヒ緊急対策を決める、本道は生クチンを使用。
○農林省、昨年の漁獲量を発表、619万トンで新記録。
- 26 ○天皇、皇后両陛下、道議会を御訪問。
○道農務部、道産米の実態調査結果を発表。
- 27 ○天皇、皇后両陛下御退道。
- 28 ○東京六大学野球明大優勝。
- 29 ○国際ロータリー大会開催(東京都)。
○青森、岩手、宮城各県で大火続発、八戸市で400戸岩手県田老町で448戸焼失。
○東北、北海道各地で突風と高潮。
- 30 ○電源開発審議会で36年度開発計画決まる、新規開発433万キロワット。
- 31 ○参院本会議で補正予算可決、公企体職員のペア等地方議会議員互助年金法も通過。
○参院内閣委、防衛二法案を可決。
○南ア連邦独立、共和国となる。
○セニ伊外相日伊親善のため来日。

昭和36年 6 月20日発行

北海道議会時報 (第¹³卷
第⁶号)

編 集 北海道議会事務局調査課

発 行 北海道議会事務局